

事業評価調書（新規）

事務所名 (課名)	農林水産部農林水産局 農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	課長 松浦 猛 <small>(課長補佐兼県営ほ場整備係長)</small> 鈴木 敏亮	内線	4003 (4014)
--------------	---------------------	---------------------	--	----	----------------

事業種目	ほ場整備	事業名	事業区間	総事業費	4.0 億円	
		経営体育成基盤整備事業	青木地区	内用地補償費	0.14 億円	
所在地				事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
兵庫県宍粟市山崎町青木				H.18	H.18	H.22
事業目的			事業内容			
区画形質の改善や水路、農道等の整備を行い、経営感覚に優れた経営体を中心となって優良農地を将来にわたり維持・保全することで食料の安定供給力を向上させ、農業の多面的機能を発揮することを目的とする。			<ul style="list-style-type: none"> ・ 区画整理 20.6ha ・ 負担率 [国50% 県27.5% 市10% 地元12.5%] 			
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	<p>本地区の水田は、小区画、不整形であり、農業従事者の高齢化から労働力が不足することにより休耕田が増加している。このような状況の中、早急に生産基盤の整備を行い、農地の荒廃防止と経営体への農地集積等により、効率的かつ安定的な農業経営を行える組織の育成を図り、地域農業の健全かつ持続的な発展を図る必要がある。</p>					
(2)有効性・効率性	<p>費用便益比B/C=1.19、所得償還率19.4%であり、事業としての効果が十分に期待できる。 同意率100%(104/104) 担い手への農地集積 0ha (0%) 11.7ha (56.8%)</p>					
(3)環境適合性	<p>集落付近にある排水路において、以前生息していたホタルの生息に適した水路を整備する。 農道の舗装材料として、資源循環のため再生砕石の積極的活用を図る。</p>					
(4)優先性	<p>現在手狭である公民館移転用地を創設配置し、土地利用の秩序化と地域社会の活性化に貢献する。 農免農道（鳶沢菅野線）により農産物出荷施設への輸送時間が短縮されるため、生産基盤の整備と併せた早期効果発現が望まれる。</p>					